



2025 年 4 月 23 日

各 位

会 社 名 セントラル警備保障株式会社

代表者名 代 表 取 締 役 市 川 東 太 郎
執行役員社長

(コード番号 9740 東証プライム)

問合せ先 常 務 執 行 役 員 松 本 直 樹
管 理 本 部 長

(TEL 03-3344-1711(代))

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、2021 年 4 月 13 日公表した中期経営計画「Creative 2025」(2022 年 2 月期～2026 年 2 月期)について、今般の経営環境の急激な変化を踏まえ、今期を初年度とする新たな計画を策定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 策定の背景

当社は、2022 年 2 月期から 2026 年 2 月期を対象とする中期経営計画を公表し、その取り組みを推進してまいりました。昨今の物価高や人件費高騰に伴う影響等も踏まえ、今期を初年度とする新たな中期経営計画「想い 2030 ～連携して実現する～」に基づき、次の時代を見据えた経営を実施していくこととしました。

2. 計画の概要

1) 名称：中期経営計画「想い 2030 ～連携して実現する～」

2) 計画期間：2026 年 2 月期～2030 年 2 月期（5 年間）

3) 主な内容

○私たちの想い

○「この街には、C S P がいる」

・ソリューションの提供

・基盤事業の変革

・基盤事業の拡大

○警備・サービスを支える技術

○警備・サービスを実現する人

4) 経営目標（連結）

指 標	最終年度（2030 年 2 月期）
売上高	900 億円
営業利益	54 億円
営業利益率	6.0%

3. その他

計画の内容につきましては、2025 年 4 月 24 日に開催予定の決算説明会後に当社のホームページへ掲載致します。

※当社ホームページのアドレス（ <https://www.we-are-csp.co.jp/> ）

（注）本資料には当社の計画や戦略、業績に関する予想及び見通しに関する記述が含まれています。
実際の業績は、経済動向や個人消費の動向、法改正等、様々な要因により異なる結果となり得る可能性があることをご承知おきください。

以 上

CSP中期経営計画

想い2030
～連携して実現する～

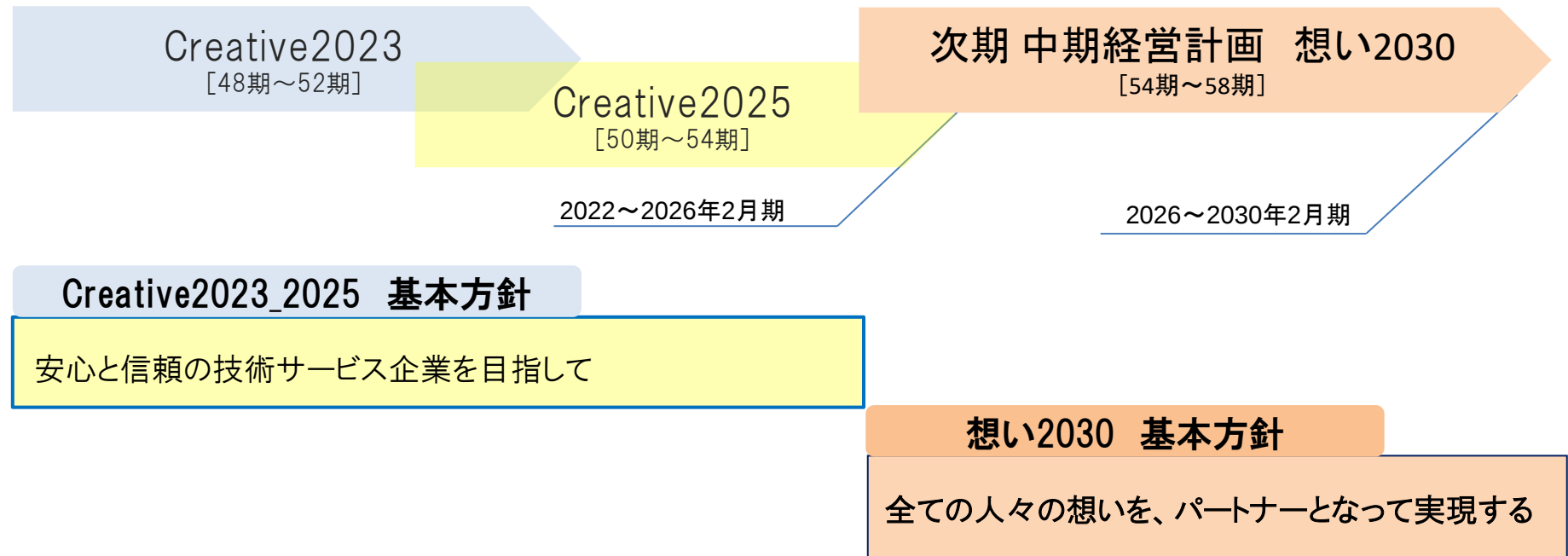
セントラル警備保障株式会社

2025年4月23日

Creative2025の見直し	P2～P6
私たちの想い	P8～P10
「この街には、CSPがいる。」 ソリューションの提供	P11～P13
「この街には、CSPがいる。」 基盤事業の変革	P14～P15
「この街には、CSPがいる。」 基盤事業の拡大	P16
警備・サービスを支える技術	P17
警備・サービスを実現する人	P18～P19
未来の人も含めて全ての人々を幸せにする 持続的な運営	P20～P25

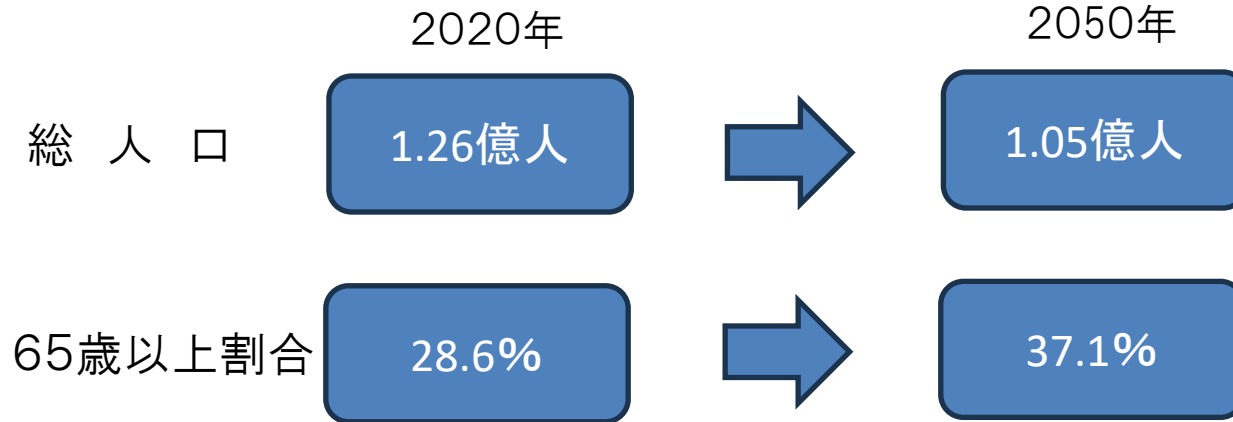
見直しの背景

2021年4月13日に発表した 中期経営計画「Creative2025」において、2026年2月期(第54期)を最終年度として数値目標も設定して計画を遂行してきたが、今般の経営環境の急激な変化を踏まえ、2025年3月(第54期)から新たな中期経営計画「想い2030」に基づき、次の時代の見据えた経営を実施していくこととしました。



外部環境の状況

▶ 日本の総人口予測

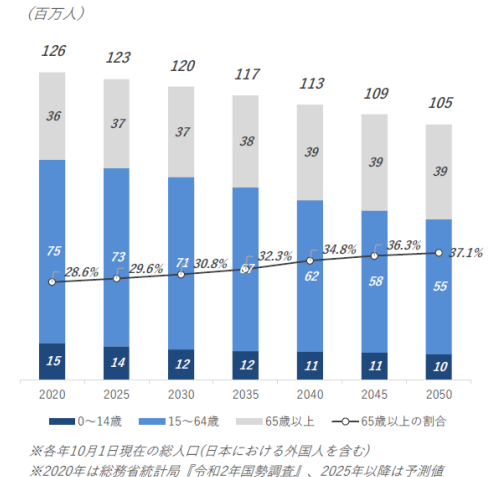


エリア別では、関東圏を除く全てエリアで増減率('20-'50)が▲17.0%を下回っており、特に東北・四国エリアでは、▲30%と大幅な減少が予想される。

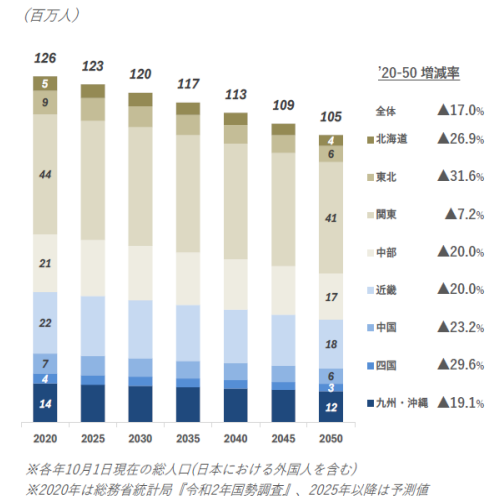
業界の対応

全国警備業協会は、深刻な人手不足の状況に対応するため外国人労働者の育成就労制度(2027年施行予定)の導入に向けた準備を進めている。

▼日本の総人口の将来予測



▼エリア別総人口の将来予測

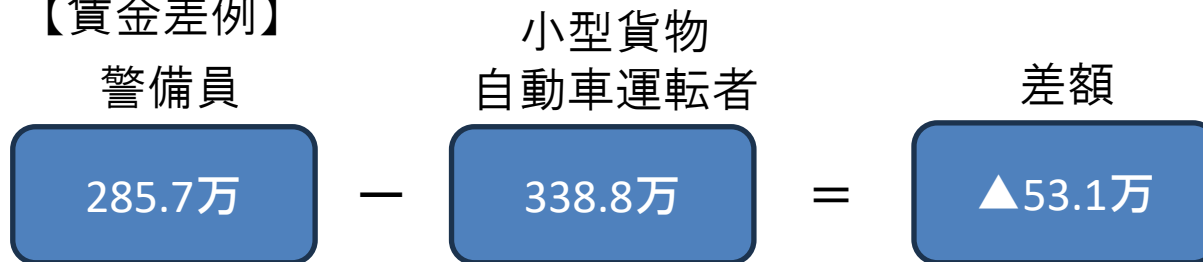


外部環境状況

▶ 給与上昇状況

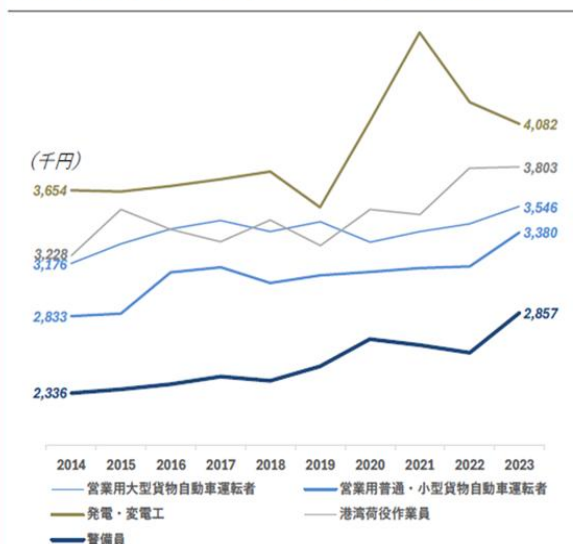


【賃金差例】



過去10年間のインフラ関連職種の中では、警備業の給与は高い推移で上昇しているものの、給与額そのものが低かったことから、他の業種に比べて給与水準が低い状況である。

▼過去10年間で給与上昇したインフラ関連職種の推移



賃金上昇率('14-23)

警備員	+22.3%
営業用普通・小型貨物自動車運転者(配達員等)	+19.3%
港灣荷役作業員	+17.8%
発電・変電工	+11.7%
営業用大型貨物自動車運転者(トラック運転手)	+11.6%

外部環境状況

▶ 物価指数の推移

企業物価指数

24.9%増

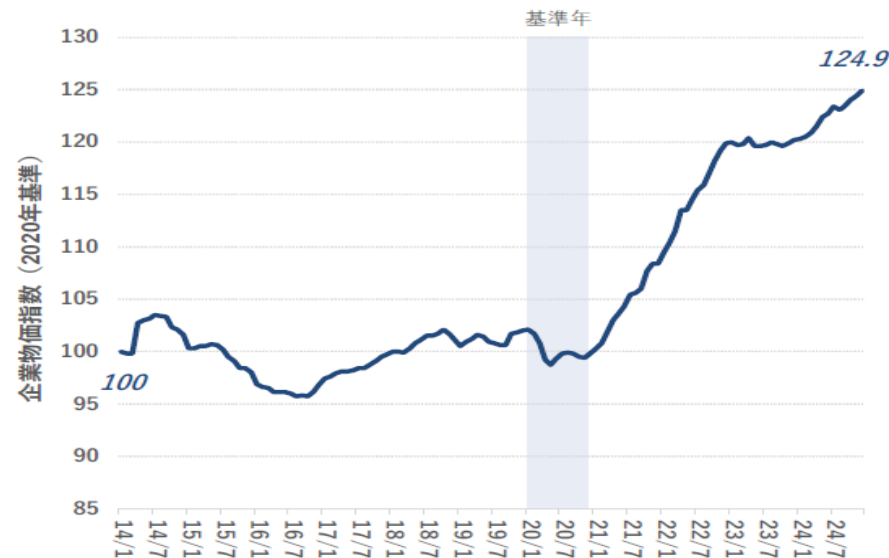
消費者物価指数(総合)

10.7%増

消費者物価指数(食料)

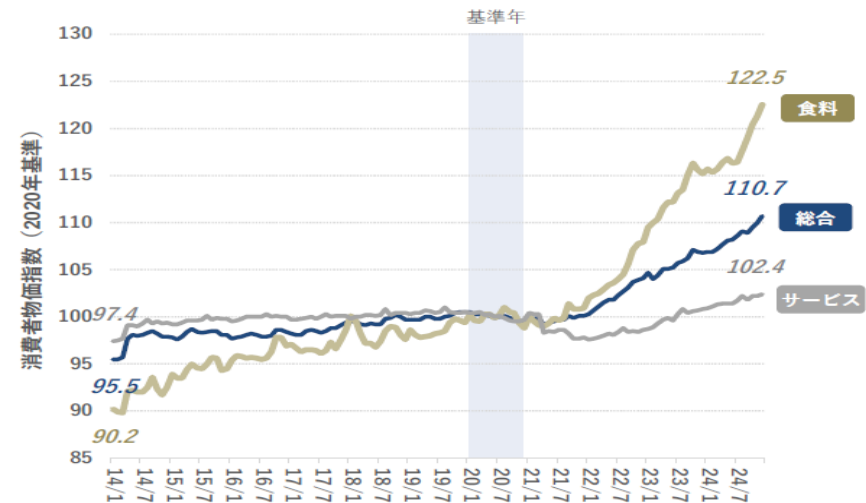
22.5%増

▼企業物価指数の推移



※国内企業物価指数の総平均

▼消費者物価指数 (CPI) の推移



※総合とは、全ての商品・サービスを対象とした指標

※食料とは、食品、加工品、調理食品、飲料など

※サービスとは、公共サービス、家賃や外食、家事、医療福祉などの一般サービス

中期経営計画を見直す理由、および経営目標数値

■中期経営計画を見直す主な理由

- ・Creative2025が前提としていたオリンピックが終了したこととコロナ禍が収束したこと
- ・コロナ禍を経て社会構造の変化の影響が顕在化したこと
- ・機器やシステムがクラウドやAIといった次の時代のツールになってきたこと
- ・物価上昇や人員不足による機材費、人件費が増加となったこと

■経営目標数値(連結)

	50期実績	Creative 2025 最終年度(54期)		
		当初計画	直近の見込	想い2030 58期計画
売上高	690.7億円	800億円	760億円	900億円
営業利益	51.7億円	68億円	45億円	54億円
営業利益率	7.5%	8.5%	5.9%	6.0%
配当性向			28.9%	33.3%

「想い2030」

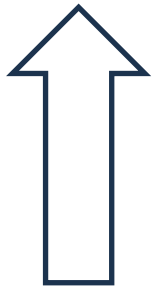
取り組み内容

創業の理念

- 一、仕事を通じ社会に寄与する
- 一、会社に関係するすべての人々の幸福を追求する

Purpose（「創業の理念」の具現化）

Peace of Mind（安心してやすらげる社会）の実現



安全、安心、快適な街

- ・お客さまに速やかに寄り添う
- ・お客さまの状況をいち早く正確に把握する
- ・お客さまの危険や被害を予知する
- ・お客さまが不安に感じないように見守る

人と技術が最適に集合した警備・サービスの提供



「創業の理念」を基盤として培ってきたノウハウ

社訓

厳肅なる規律
鞏固なる責任
脈々たる創意
渾然たる融和
確乎たる矜持

Values（社訓の内容）

厳肅（げんしゆく）なる規律

常に法令や規律、社会的規範を順守し、誠心誠意行動する。

鞏固（きょうこ）なる責任

安全・安心・快適な社会を創るという責任を意識し、強い決意をもって行動する。

脈々（みやくみやく）たる創意

常に社会環境の変化や技術革新に好奇心を持ち、新しいサービスの創造に挑戦し続ける。

渾然（こんぜん）たる融和

個性や多様性を認め合い、一人ひとりの能力・技能を結集して組織力や生産性を高め合い全員一丸となって行動する。

確乎（かっこ）たる矜持

自らの課題に熱意をもって取り組み、社会に寄与するCSPグループの一員として、使命と役割を果たすことに誇りと自信を持ち行動する。

ブランドコンセプト

～ 全ての人々の想いを

お客さま
(企業様も個人さまも)

一緒に仕事を
する会社や人々

社員

株主

「Creative Security Partner」

パートナーとなって実現します ～

- ・いつも見守り、いざという時は速やか駆け付けて、寄り添い、対応します。
- ・課題の解決策や業務の改善策を提供して、実現します。
- ・お客さまのために、連携してより良いモノやサービスを提供して、お互いの貢献度に応じて利益を配分して、三方良しを実現します。
- ・キャリアアップイメージを示して、教育や資格取得の充実と、昇進制度や人財運用の最適化を図り、社員が自信を持って仕事ができることを実現します。
- ・仕事もプライベートも充実できる賃金・勤務制度・職場環境を実現します。
- ・会社を持続的に発展させて、配当を着実に増やしていきます。
- ・PBRを意識して企業価値を上げる取り組みを行います。

標語

私たちは「Creative Security Partner」として、安全・安心・快適な社会基盤を提供します。

これまで築いてきたCSPグループの警備・サービスをAIやクラウドも活用してレベルアップします

1966.03

創業

2017.03

2025.03

「Creative Security Partner」

CSPグループの警備・サービス

警備業に参入

施設警備

雑踏警備

機械警備

輸送警備

機械警備の拡大

マンション
セキュリティ

ファミリーガード

見守りハピネス

ビズガード

ライフサポート事業

まもルール

安否確認

AED



画像サービスの拡大

画像巡回

画像解析



トリガー

画像巡回サービス

画像センターサービス

建物管理に参入

ビル管理

防災・消防

清掃

機器販売の拡大

セントリックス

防犯カメラ

害獣王

新たな技術の利用

警備ロボット

ドローン



C-SPaRtX

技術サービス企業

人による警備・サービスの品質向上

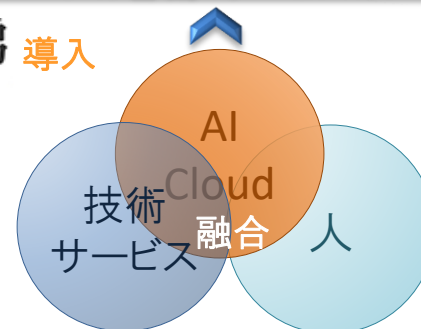
人は「人ならではの」仕事に集中

お客さまと向き合う時間の創出

新たなサービスの創出

CSPグループの警備・サービスのレベルアップ

SECURITY PLATFORM
KAKEHASHI 導入



AI・クラウドを活用して人と技術を最適に融合

最新技術を活用して警備・サービスのレベル向上

充実した教育により警備・サービスの品質を更に向上

「この街には、CSPがいる。」ソリューションの提供

セキュリティプラットフォーム「梯(かけはし)」の活用により、街全体のセキュリティを高度化します ～エリアマネージメントやスマートシティへの貢献～

梯の活用

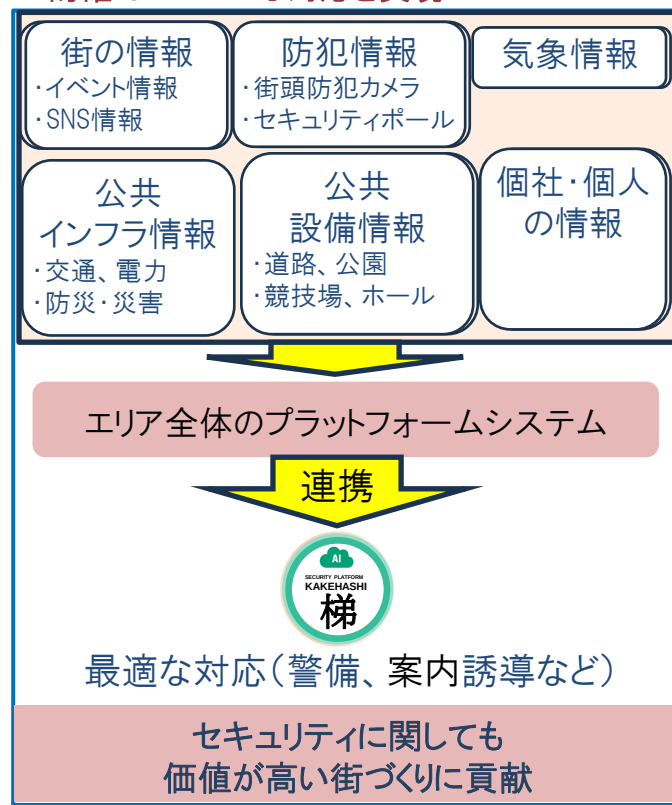
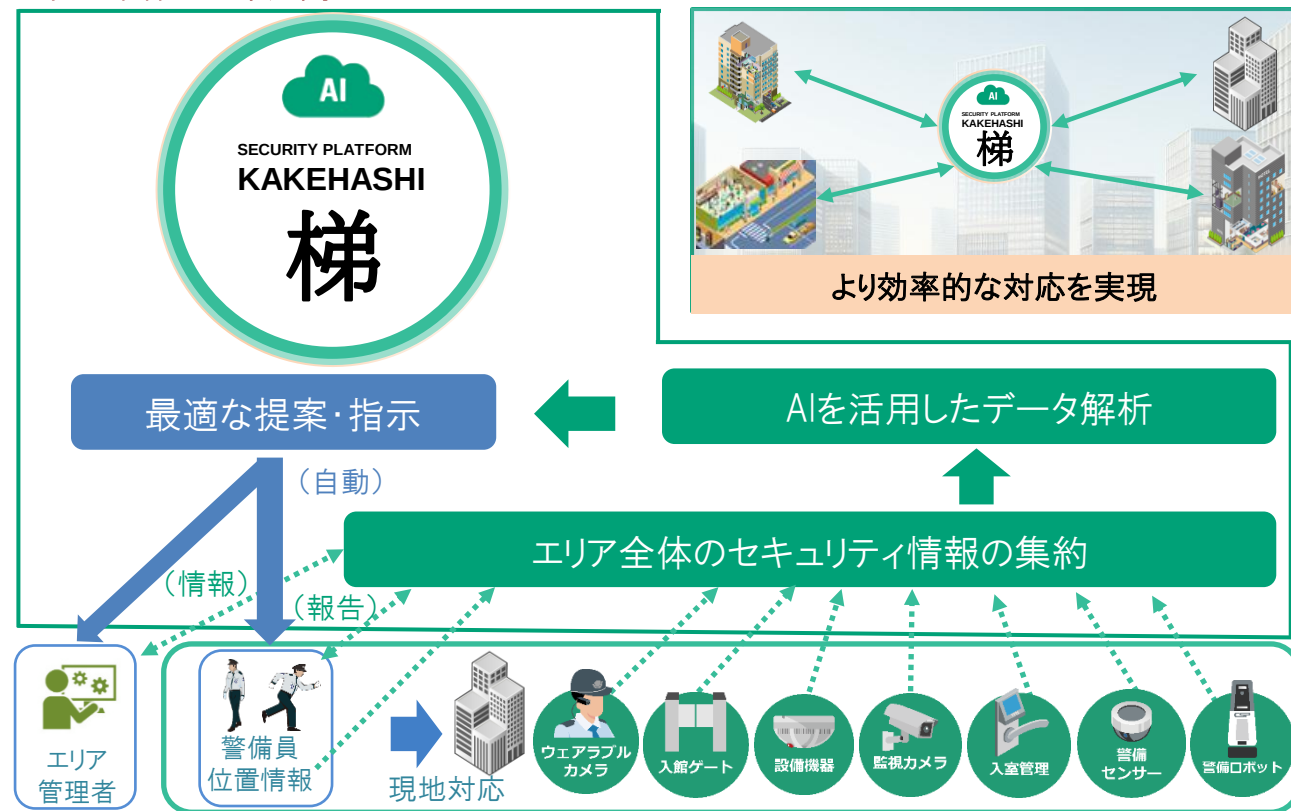
- ◆ 高輪ゲートウェイシティで実用化
- ◆ 他の案件へ水平展開

エリアマネージメントへの活用

- ◆ 複数街区、建物の情報を梯に集約してエリアにある対象施設を一元管理

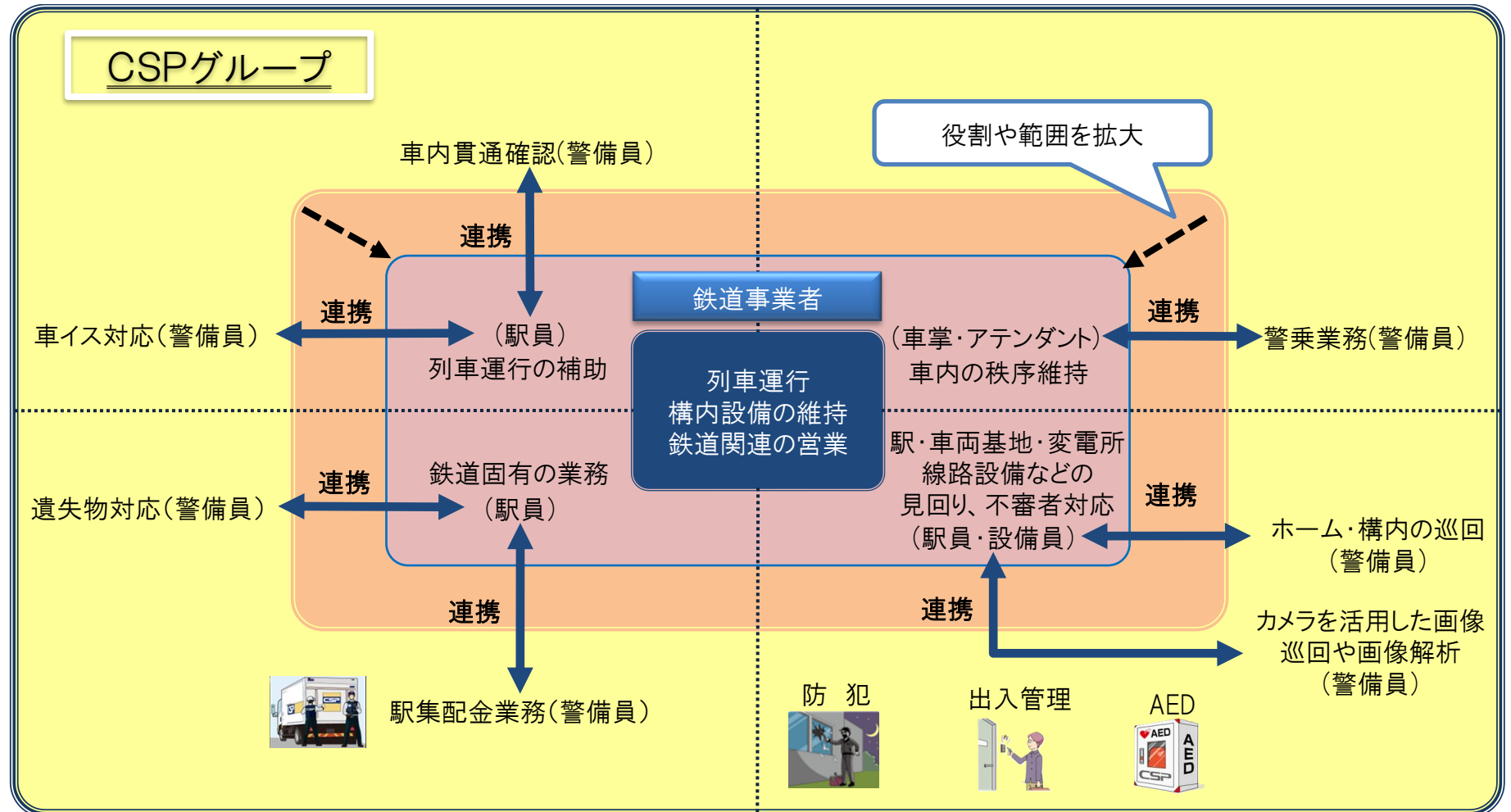
スマートシティへの活用

- ◆ 街の内外の情報を梯に集約して予知や予防、的確でスムーズな対応を実現



鉄道事業者様の事業支援をさらに拡大します

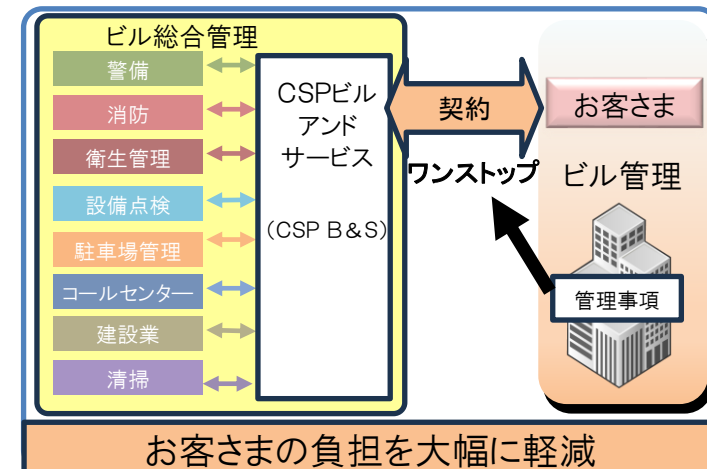
～鉄道固有の事柄以外は、CSPグループですべて対応可能にする～



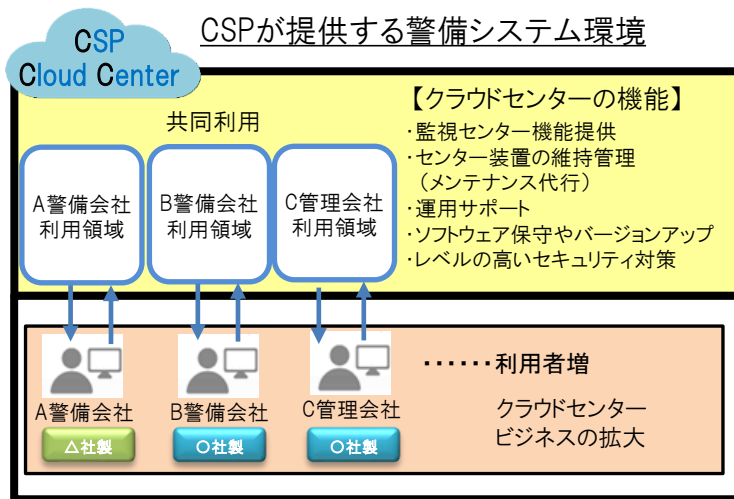
「この街には、CSPがいる。」ソリューションの提供

建物に関する全ての運用管理(ビル総合管理)をCSPグループがワンストップで実現します。

- ・ビル総合管理業務を一括でCSPグループが対応します。
- ・お客さまは、様々な管理業務をそれぞれの取引先に発注する必要がなくなります。



CSPクラウドを他社様にもご利用いただき、共存共栄を実現します。



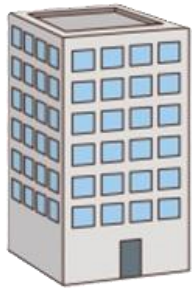
他社が利用する際のメリット

- ◇ 警備サービスのシステム費用が廉価で平準化する。
- ◇ オンプレミスの際の機器の保守が不要になる。
- ◇ ソフトウェアの保守管理やバージョンアップが不要になる。
- ◇ 最新のセキュリティ対策が受けられる。
- ◇ システム更新の費用と手間を大きく削減できる。
- ◇ 災害リスクを地理的に避けられる(BCP対策)。
- ※ 個社によるクラウドシステム化には手間とコストがかかる

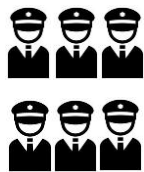
次世代の常駐警備

～機械・システム・AIなどで置き換え可能な事柄は置き換えて、人は「人ならではの」の仕事に集中する～

今までの施設警備

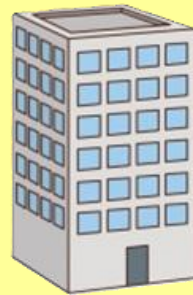


警備員 + 機械



警備員の教育訓練と
センサやカメラの活用で
警備の品質を高めてきた

次世代の施設警備



警備員 + 機械・システム + AI
(ドローン、ロボットも活用)



データ解析

お客さまにもCSPにも良い姿を実現

○品質の維持向上

- ・誤報を排除して真報のみ対応
- ・予兆把握や迅速な事象把握で即時対応

○トータルコストの削減

- ・生み出した資源を社員、お客さま、次への開発に還元

目指すべき姿

警備員

機械・システム・AI



データ解析

警備員

機械・システム・AI

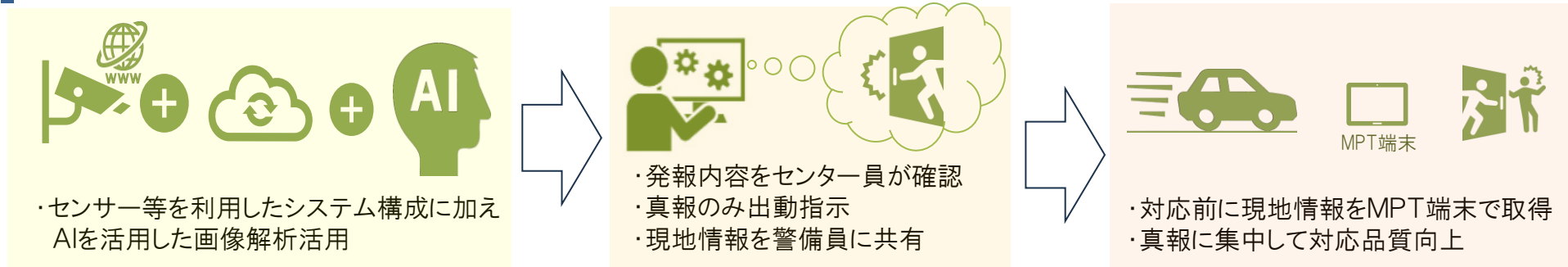


データ解析

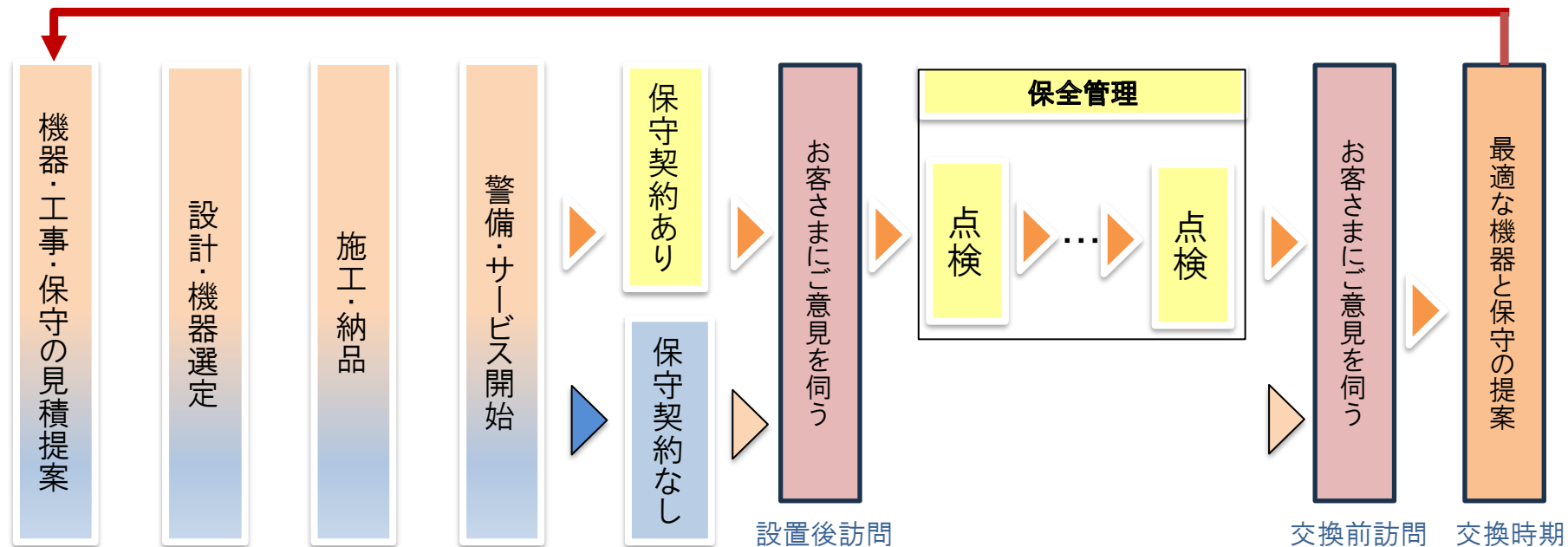
同じ人数で2倍の
受注が可能に！

「この街には、CSPがいる。」 基盤事業の変革

次世代の機械警備 ～必要な時に、速やかに寄り添い、適切に対応します～



機器販売や工事 ～ご縁をいただいたお客さまに末長く寄り添います～



「この街には、CSPがいる。」 基盤事業の拡大

ドローンの活用で、お客さまの課題を解決します

省力化課題

管理を請負う我々は

手が届きにくい箇所を安全に、また確実に点検したい



警備を担う我々は

警備の仕事でドローンを活用したい



災害時課題

緊急出動を行う私達は

野外の夜も救助活動を安全に実施したい



震災時の生存者捜索や水難事故の捜索を行いたい

重要拠点課題

重要施設を守る我々は

ドローンの侵入を安全に防ぎたい



部外者の侵入を事前に防ぎたい。

普及課題

ドローンを学びたい私達は

資格を取ってドローン関連の仕事に就きたい



パイロットを依頼したい我が社は

資格を持ったドローンパイロットに仕事を依頼したい



CSP ドローン活用推進部

対応計画の策定・適切なドローンや機械の提供、必要なオペレータやパイロットを派遣

設備点検サービス

- ・狭小空間や高所の点検の実施
- ・建築基準法に定めるマンション外壁検査にも対応可
- ・動画をデータ解析・編集し、3D化や点群化、オルソ画像化が可能

警備サービスに利用

- ・ドローンによる巡回サービス、群衆管理に利用可能

AI搭載有線給電ドローン

- ・サーマルカメラおよび AI を搭載した有線給電式ドローン

有線給電式照明ドローン

- ・災害発生時、緊急時の照明として使用して災害復旧や人命救助の支援に貢献

カウンタードローン

- ・飛行が禁止されているエリア等に侵入するドローンを無力化、無害化

ドローンベースカー

- ・災害支援をはじめ様々なシーンに活用できる移動式指揮車（2025 年 4 月以降販売予定）

ドローンスクール

- ・ドローン操縦士協会(DPA)に加盟
- ・国交省認定のドローン講習団体に登録

ドローンパイロットの依頼

- ・CSPから資格認定を受けたパイロットを派遣
- ・要望に応じたサービスを提供

カスタムメイドシステムの更なる充実により、多様化するお客さまのあらゆるニーズに対応

カスタムメイドシステムとは

既存のスタンダード
システム

連携
+
組合せ

既存のスタンダード
システム

=

お客さまの課題解決

新たな価値の提供

【カスタムメイドシステムの導入事例】

① トランクルームの入退室管理

お客さまの課題

- (法人) 専用の鍵やカード貸出しが必要(管理の負担)
- (個人) 複数の鍵やカードを所持
- (共通) 鍵やカードの紛失や盗難時の即時対応

カスタムメイドシステム



導入効果

- (法人) 管理負担が軽減
- (個人) 複数の鍵やカードを所持不要
- (共通) お客さまが所持する交通系カードが専用鍵となる
- (共通) 盗難時の登録抹消が容易

② 車両基地の入退場管理

お客さまの課題

- ・門の開閉を警備員が操作
- ・既製品の自動門扉だけでは入館業務の効率が上がらない
- ・警備員による受付・出入管理及び巡回が必要

カスタムメイドシステム



導入効果

- ・Web事前登録により受付業務が不要
- ・紙管理の出入管理がデータ化
- ・受付・出入管理が不要で警備員が省力化が可能

私たちが目指すCSPの人財像 『チャレンジを続けて未来を創造する人』

■ 自らのチャレンジにより、自分の未来と全ての人々の想いを実現していく

■ 会社の仕組みもさらに充実させる

チャレンジ項目	チャレンジ内容	自身の未来の姿	お客さまや関係者への貢献
知識・技術の向上	研修や教育の活用 資格取得	その道のプロになる	プロの知識と経験で役に立つ
自身の業務改善	工夫して業務遂行 改善内容を提言	良い姿を常に考える 自ら行動する	改善した内容を活用してもらう
業務上の 課題解決	課題を明確に提示 解決策を策定 関係者と共に実行	課題を常に意識する 具体的に考える 皆と共に実現する	ムリやムダを無くすことができる より良いことを考える時間が増える 解決した充実感が共有できる
お客さまの 課題解決	お客さまの話を傾聴 課題の解析 解決策の策定・実行	課題把握力を持つ 社内外の知見を持つ 解決策をアレンジできる	お客さまの利益や負荷軽減になる 自社と関係者の利益と喜びになる 新たな連携につながる
新たな警備内容や サービスの創造	世の中の動向を把握 自社の強みの活用 新たな枠組みの確立	チャレンジ精神がある アレンジ力がある マネジメント力がある	お客さまに喜んでいただける 創造を実現した充実感が得られる 次のチャレンジの原動力になる

フル活用

○ 自信を持って仕事に臨めるようにする

教育・研修
(専門分野・人財育成・マネジメント)

資格取得制度の体系化
資格活用戦略の策定・実行

競技会・コンクール
(屋内消火栓操法、基本動作)

○ 挑戦しやすくする

改善提案制度「知恵の杜」活性化

深耕営業とマーケティングによる
お客さまへの提案

○ 関係者で連携して協力して実現する

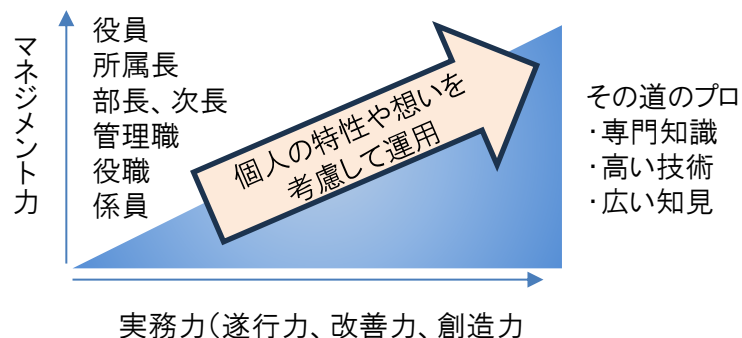
テーマごとにWGを組んで業務推進

会社全体で支援体制を取る

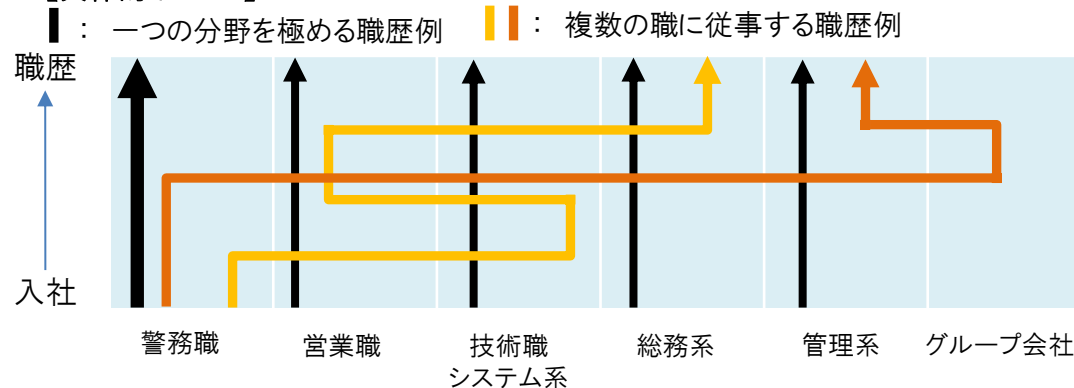
私たちが目指すCSPの人財像 『チャレンジを続けて未来を創造する人』

■人財運用（「人が適切に育つ」ことを実現する手段） ～キャリアイメージを見える化～

【スタンス】 マネジメント力と実務力の両面を個人に応じて伸ばす



【具体的イメージ】



■柔軟な勤務制度 ～仕事とプライベートの両方の充実～

- 個人の想いや環境に対して、柔軟に対応可能な勤務制度の実現
(例)フレックス、出退勤時刻、勤務指定、年休など
- 業務遂行の負担が少なく、成果を出しやすい勤務制度の実現
(例)勤務体制、作業ダイヤ、web活用など

■職場環境 ～快適に仕事ができる設備や装備の充実～

- バックヤードの充実
(例)ロッカー、休憩場所、布団やリネンなど
- 装備品の充実
(例)防寒対策、熱中症対策、安全装備品

■職場環境 ～快適に仕事ができる雰囲気醸成～

1. 想いがある人が伸び伸びと挑戦ができる職場
挑戦することが当たり前という考えを皆が持つ
2. 挑戦する人を応援する職場
人それぞれの方法で応援する
3. 挑戦した人が、得たモノを皆に還元している職場
人それぞれの方法で還元する

未来の人も含めて全ての人々を幸せにする 持続的な運営

CSPグループ各社相互の連携による効果的な事業運営

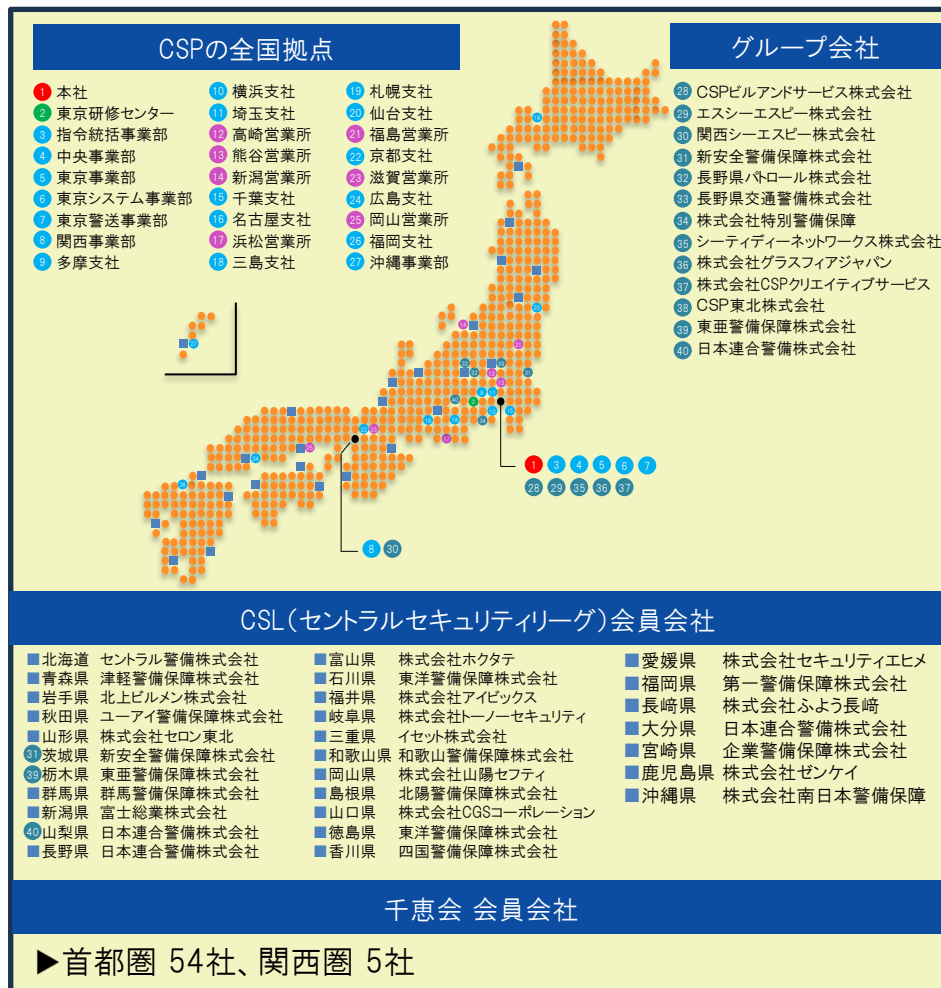
～CSPグループ全体で成果を最大化する（各社の手間・コスト・リスクを最小化する）～

A社	商品・サービス販売	商品・サービス知識習得教育	人財育成（人財運用）	専門事項の教育（警務・技術・接遇・管理）	調達	経理	システム
B社	商品・サービス販売	商品・サービス知識習得教育	人財育成（人財運用）	専門事項の教育（警務・技術・接遇・管理）	調達	経理	システム
CSP	連携	CSPが主導		CSPに一部集約		共同利用	
	各社の商品やサービスを紹介	グループ各社の営業協力にも貢献	CSP⇄G社相互に一定期間人財交流	各社の負担を軽減して営業や教育を充実させる	スケールメリット活用	各社の負担軽減	各社の負担軽減
	グループの売上と利益を伸ばす	各社の商品やサービスを体系的に教育	CSPがグループ全体の調整を図る	各社に専門家がない部分をCSPの専門家が教育	再生品の相互活用	各社の指導も行う	グループ連携強化に役立てる
	G戦略策定 G各社と実現	G全体の営業に関する教育の実施	G全体のための人財育成方針策定	専門家による教育（警務・技術・接遇・管理）	G全体の一括調達	G全体を統一管理	他社も使用可能な仕組み
	商品・サービス販売	商品・サービス知識習得教育	人財育成（人財運用）	専門事項の教育（警務・技術・接遇・管理）	調達	経理	システム

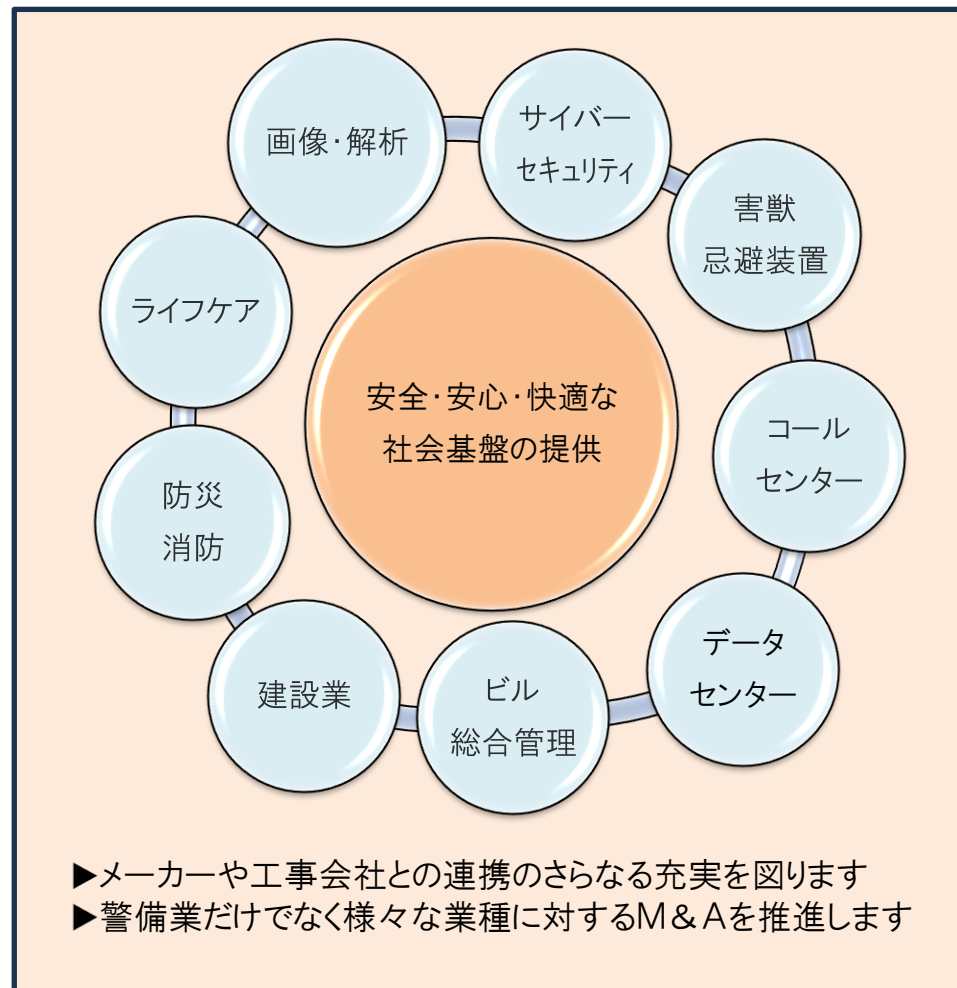
未来の人も含めて全ての人々を幸せにする 持続的な運営

関係する会社との総合力を強化 ～対応力と営業力をさらに拡充します～

■エリアの拡充



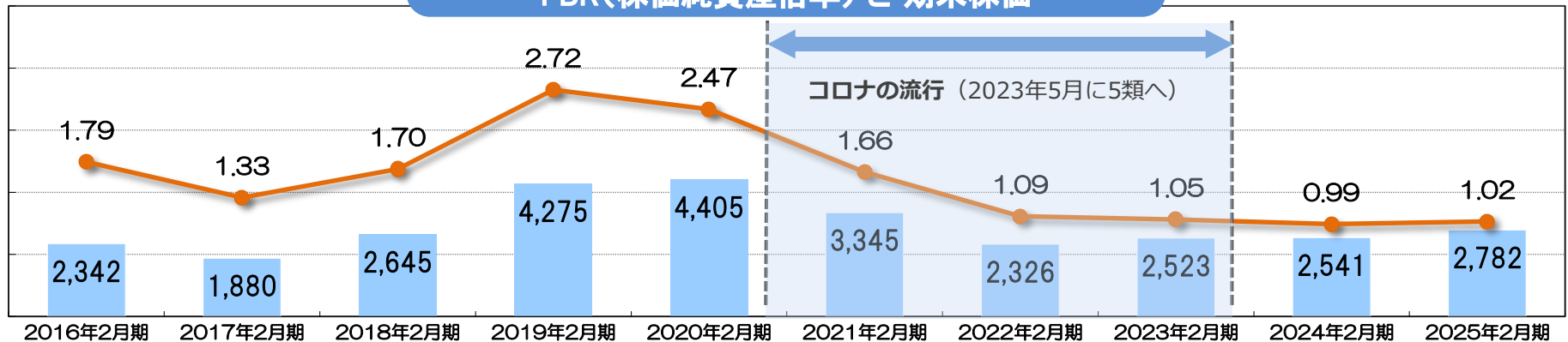
■業種の拡充



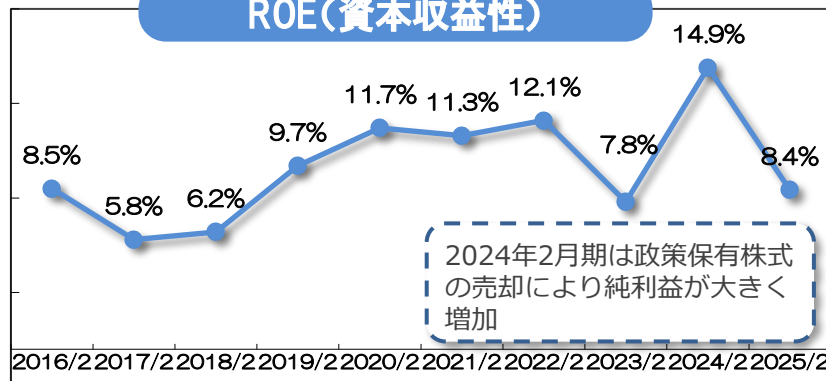
資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応(現状分析)

- ・PBRの過去10年間の平均は「1.58倍」であり、プライム市場の平均「1.2倍」(2025.02時点)と若干上回るが、直近3か年では、ほぼ「1倍」を推移している。

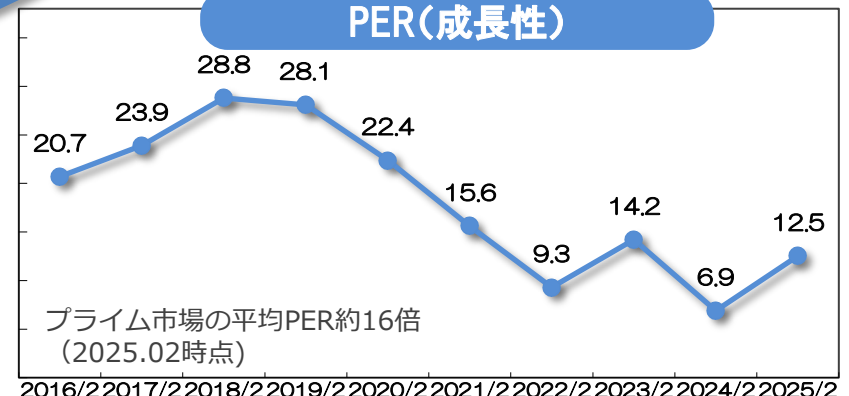
PBR(株価純資産倍率)と 期末株価



ROE(資本収益性)

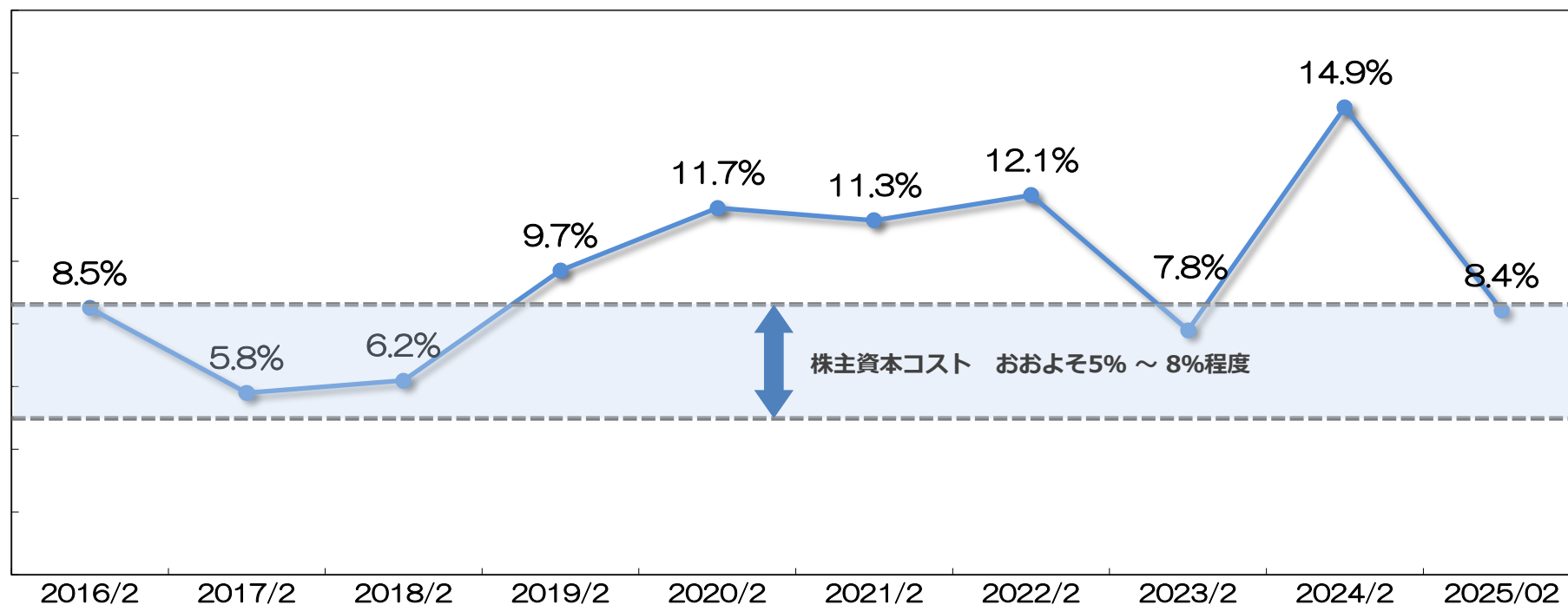


PER(成長性)



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応(現状分析)

ROEの推移と株主資本コスト



- ・ 株主資本コストは、おおよそ5%～8%程度と認識
- ・ 一方ROEは、年度によって株主資本コストを上回る水準を実現している
- ・ 今後は、株主資本コストを安定的に上回るROE水準を実現するため、市場からの評価向上を目指す

資本コストや株価を意識して経営を行います

変革と成長を意識したキャピタルアロケーションを行い、PBR(企業価値)を向上します

キャピタルアロケーション

キャッシュイン

借入金(施策に柔軟に対応)

手元キャッシュ

営業活動による
キャッシュ創出



キャッシュアウトの柱 (主な例)

M&A

- ・エリア拡大
- ・業種拡大

成長・変革

- ・画像解析、ドローン
- ・人+機械+AIの警備

DX投資

- ・全体最適を意識した
基幹システム
- ・プラットフォーム「梯」

人的資本投資

- ・待遇改善
- ・教育や研修の充実
- ・勤務環境向上

株主還元(配当)

- ・還元性向33%

既存事業維持

- ・機械警備システム

経営資源の適切な活用

- ・売上の増大
- ・質的変革
- 収益性(ROE)の向上
- 成長性がある事業の基盤創り

+

IR活動のさらなる充実

- ・経営資源の適切な活用の考え方の
積極的な発信
- ・投資家や株主との対話の充実
- 市場評価(株価)の向上
- 成長性(PER)の向上



PBR(収益性×成長性)が向上

- ☆・私たちは安全・安心・快適な社会基盤
を提供するインフラ企業
- ・着実に警備とサービスのレベルを向上
- ⇒持続的に成長して企業価値を向上

未来の人も含めて全ての人々を幸せにする 持続的な運営

中期経営計画「想い2030」の内容を、CSPのサステナビリティのマテリアリティに反映します

■ 中期経営計画

「想い2030」

私たちの想い

「この街には、CSPがいる。」

- ・ソリューションの提供
- ・基盤事業の変革
- ・基盤事業の拡大

警備・サービスを支える技術
警備・サービスを支える人

未来の人も含めて全ての
人々を幸せにする
持続的な経営

反
映

サステナビリティの取り組み 基本方針 社会的課題の解決
事業の持続的成長

【現行のマテリアリティ】

技術サービス企業の 実現	安全・安心・快適な まちづくりへの貢献	人づくりと職場環境の 整備
■セキュリティプラット フォーム「梯」の活用 ■画像解析監視サービス の活用 ■ドローン等の先端技術を 取り入れた新しい警備 (S)	■社会インフラへの安全・ 安心の提供 ■労働人口減少に対応し た生産性向上を実現す る警備サービスの提供 ■社会的脅威・BCPへの サポート ■警備品質の向上 (S)	■ダイバーシティ、エクイ ティ&インクルージョンの 推進 ■働き方改革、ワーク・ライ フ・バランスへの取り組み (S)
ガバナンスの強化	環境への配慮	地域社会への貢献と 連携
■ISMS認証の確立と強化 ■コーポレートガバナンス 体制 ■取締役のスキル・マトリッ クス ■グループガバナンス(G)	■BEVなど脱炭素車への シフト ■制服におけるサステナ ブルな取り組み (E)	■地球環境に優しい施設 の運営 ■地域における取り組み (S)

※類別

E:環境

S:社会(地域)

G:ガバナンス

着
実
に
推
進